

平成22年3月29日

## 新拠点「仙台港新物流センター」の建設について

塩竈港運送株式会社

### 1. 計画の概要

弊社は日通グループの仙台塩釜港における港湾運送事業者としての役割を担い、昭和19年の創立以来66年にわたり地域の発展とともに業務を遂行してまいりました。

仙台塩釜港においては国際コンテナ貨物を主体に取り扱いが増加しており、今後、自動車産業やエレクトロニクス産業を中心に東北地域へ進出する企業も数多くあることから、仙台塩釜港の貨物取扱は更なる増加が見込まれております。

このような経済環境のなかで、仙台港臨港地区に唯一残された未利用地に新たに事業用分譲地が造成されたことから、大型物流拠点「仙台港新物流センター(仮称)」を新設することいたしました。

この新拠点は増加する国際コンテナ貨物に対応するとともに、仙台港周辺に点在する施設を集めし、作業の効率化を図ることを目的としております。また、建設場所は仙台港コンテナターミナルから3キロ、三陸自動車道仙台港インター(建設中)からわずか2キロと、交通アクセスも便利なところです。

事業規模は7,000坪の敷地に倉庫1,815坪と屋外荷捌場2,000坪を設け、投資総額約20億円を見込んでおります。

倉庫は平屋建て、片面高床・片面低床で国際コンテナやトラックからの荷捌きに最適な、機動性のある施設としております。庫内は4ブロックに分かれ、様々なお客様のニーズに対応でき、3PL庫内作業や輸出入混載貨物の取り扱いも計画しております。また、屋上緑化やLED照明を採用することにより省エネ型施設とし、環境面にも配慮しております。

開業は平成23年3月を計画しております。

### 2. 新拠点開設による地域への影響

仙台塩釜港は東北唯一の特定重要港湾に指定されており、宮城県ばかりでなく東北地域全体をカバーする物流拠点と位置付けられ、東北地区の物流を支える大きな役割を担っております。このような役割を担っている仙台港地区に新物流拠点を開設することにより、東北地区へ進出する企業物流を支えることを通じて、東北地域経済振興に大いに寄与するものと考えております。

また、この新拠点は新たに造成された事業用分譲地に開設されるものであり、仙台港地区の都市機能拡充にも役立つものとなります。



イメージ図